

平成 24 年度（下半期）河川レンジャー活動経過報告

平成 25 年 3 月

枚方管内河川レンジャー	上田 豪 (1 期生)
	瀬野 卓男 (2 期生)
	山口 進 (3 期生)
	後藤 圭一郎 (6 期生)
	玉井 理恵 (6 期生)
河川レンジャーアドバイザー	立川 亨一

目 次

○上田河川レンジャー活動報告（下半期）	1
1. 平成 24 年度 活動のテーマと目的	1
2. 点野歴史めぐり	・平成 24 年 10 月 5 日(金) 3
3. 子どもが安全に遊び、学べる水辺拠点づくり	・平成 24 年 12 月 18 日(火) 5
4. 子どもが安全に遊び、学べる水辺拠点づくり	・平成 25 年 1 月 23 日(水) 7
5. 淀川の冬鳥観察会	・平成 25 年 2 月 3 日(日) 9
6. 子どもが安全に遊び、学べる水辺拠点づくり	・平成 25 年 2 月 20 日(水) 11
○瀬野河川レンジャー活動報告（下半期）	13
7. 平成 24 年度 活動のテーマと目的	13
8. 枚方淀川河川敷自然観察会	・平成 24 年 11 月 5 日(月) 14
○山口河川レンジャー活動報告（下半期）	16
9. 平成 24 年度 活動のテーマと目的	16
10. 庭窪ワンド外来魚&植物駆除・清掃活動	・平成 24 年 11 月 25 日(日) 17
11. 庭窪ワンド外来魚&植物駆除・清掃活動	・平成 25 年 2 月 2 日(土) 19
○後藤河川レンジャー活動報告（下半期）	21
12. 平成 24 年度 活動テーマと目的	21
13. 淀川講座	・平成 25 年 3 月 3 日(日) 22
○玉井河川レンジャー活動報告（下半期）	24
14. 平成 24 年度 活動のテーマと目的	24
○枚方管内河川レンジャーおよびアドバイザー連携活動報告	26
15. 寝屋川エコ・フェスタ	・平成 24 年 11 月 18 日(日) 26
16. 茨田樋遺跡水辺公園 茨田イチョウまつり	・平成 24 年 11 月 23 日(金) 27

○上田河川レンジャー活動報告（下半期）

1. 平成 24 年度 活動のテーマと目的

1.1 活動テーマと活動分野

枚方出張所管内を活動エリアとする上田河川レンジャーは以下の活動テーマのもと、7つの活動を計画しました。

活動テーマ

- 地域の人や市民、子どもたち、に淀川を知ってもらおう学習拠点となるフィールドづくり、水辺の再生。
- 子ども・流域市民に、淀川と人とのかかわり・淀川の自然・淀川の歴史・川の楽しさを知ってもらう


平成 24 年度 活動分野と活動名

活動分野	活動名	活動目的
河川の適正な利用の推進を図る活動	<ul style="list-style-type: none"> ○子どもが安全に遊び学べる水辺づくり <ol style="list-style-type: none"> 1. (外来種草刈、清掃) 2. 水辺づくりを議論するステージの確保 ○淀川丸ごと体験会 (葦笛づくり、土嚢作り体験と家庭でできる浸水防除、魚調査、舟乗り、ターザン遊び) 	<p>太間船着場と点野ワンドの間に位置する点野砂州は砂泥浜と沈床の名残が連続する水辺で、子どもたちの川遊びや学習だけでなく、川の市民活動の拠点には格好の場所であることから、5年前から、大型ごみや砂州や砂浜に埋まったごみを取り除くと共に外来種除去を行ってきた。「淀川丸ごと体験会」や「淀川と人とのかかわり歴史探求」などの催しに活用してきた。</p> <p>外来植物の草刈や抜根など一定の手を入れることで里川的自然を実現し、格好の川の学習の拠点として、これからも、官民共同による“親しめる水辺づくり”として実施していく。</p> <p>川に親しむことが少なくなってしまった子どもたちに、川を身近なものに感じていただくため、水辺で一日を過ごし、川の楽しさの体験、川と暮らしや淀川の歴史などの学習を行うことで自然体験と川と人との関わりについて考えてもらう。</p>
淀川に係わる歴史・文化の普及啓発	<ul style="list-style-type: none"> ○淀川と人との関りの歴史探求 (茨田樋跡、点野スーパー堤防緑地、点野ワンドの歴史と生物) 	<p>地域に密着したかたちで川と人とのかかわりについて、小学生を対象に学習をおこない、利水（社会と水・川（淀川）の関係）を主としながら、治水・環境についても学習することで川の大切さ・川のあり方について理解を深めてもらう。</p>
河川レンジャー活動に関するニュースの発行等の情報の発信	<ul style="list-style-type: none"> ○寝屋川市エコ・フェスタ ○“いい川づくりシンポジウム”への出展 	<p>河川レンジャー活動への理解を深め、いい川づくりへの市民参画をすすめる。</p>

活動分野	活動名	活動目的
河川行政と地域・住民・住民団体とのコーディネートを図る活動	○点野（しめの）茨田（まった）イチョウ祭り	<p>京街道に面して植えられた地域のランドマークである大イチョウ、茨田樋と地域の生活、周辺の歴史資産など、淀川と地域・人との歴史的かかわりを広く市民に紹介し、今後の川と人との付き合いを考えていただき、地域の皆さんに地域の財産として末永く大切に育てていただくキッカケとする。</p> <p>併せて、Eボートによる幹線水路舟乗り、関係団体によるポスターセッション、銀杏や秋の味覚などの屋台村を開催し、川や水辺の活動に関わる個人や団体の交流の場とする。</p>
河川の環境保全を図る活動	○冬鳥の観察会と鳥の生態学習会	<p>多様な冬鳥の生態を学ぶ中から河川生態系の理解と河川環境の回復を目指す活動への理解を深める。冬鳥の観察会で自然に親しむのみならず、鳥の体の構造や生態を知ること自然のダイナミックさを感じる。その中から、その鳥の生活を育む河川環境と人との関係を見つめなおすきっかけとする。</p>
河川の適正な利用の推進を図る活動 河川行政と住民・住民団体とのコーディネートを図る活動	○太間公園スポーツ施設利用者による淀川体験と学習	<p>河川公園縮小方針のもと公園利用団体等の連携の中、利用だけではなく河川環境回復活動へ参加していただくよう働きかける。活動を通じて河川環境の大切さを理解していただく。協働の川づくりへの参画をめざす。</p>

2. 点野歴史めぐり

・平成 24 年 10 月 5 日(金)

活動名	点野 淀川と人とのかかわりの歴史めぐり		
活動分野	啓発その他		
氏名	上田 豪 (枚方出張所管内河川レンジャー)		
活動日時	平成 24 年 10 月 5 日(金) 9:00~11:20		
実施場所	茨田の樋～土砂備蓄緑地～船着場～点野砂州ワンド 		
参加人数	参加総数	124 名	
	学校参加者	106 名	点野小学校教員 6 名、4 年生 100 名
	講師	3 名	白川曠氏(歴史研究者)、澤井健二氏(摂南大学教授)、本田政雄氏(運営会議代表)
	スタッフ	13 名	玉井・新里河川レンジャー、立川河川レンジャーアドバイザー、久保田氏、ねや川水辺クラブ 9 名
	淀川河川事務所	1 名	講師日朝洋明氏
	河川レンジャー運営事務局	1 名	
スケジュール	9:00	茨田碑公園に児童集合	
	9:15	講師と河川レンジャーによる説明の開始	
	10:20	児童からの質疑	
	11:00	児童の点野水際観察、堤防登はん	
	11:10	河川レンジャーと河川レンジャーアドバイザーから説明	
	11:20	閉会	
配付資料	スケジュール案、淀川と人との関わりの歴史探求フィールドワークショップ構想案資料、配布写真資料集(写真 15 枚)、パネル数枚		
関係機関からの支援内容	河川事務所・財団: スピーカーマイク、講師の派遣(スーパー堤防関連)ポスター作成、写真資料印刷、水辺クラブ: ロープ、簡易階段など各種資材の提供		
河川レンジャーの活動内容	準備	企画、学校との協議・調整、講師要請調整、スタッフ打合せ、資料作り、	
	当日	<ul style="list-style-type: none"> ・河川レンジャーによる司会、全体の進行管理 ・講師と河川レンジャーによる堤防建設の歴史、点野スーパー堤防の説明、非常用船着場の説明、淀川河道の変遷 ・児童からの質疑と応答 ・講師による淀川の魚種、セイタカヨシとヨシの違い ・児童の点野水際観察、堤防登はん 	
	事後	学校との反省打合せ会、感想文要請	
参加者からの意見	水辺まで降りたのは初めてだった、貝がいっぱいののにおどろいた。舟が行き来していたなんて知らなかった。		



会場全景（茨田樋公園）



講師と上田河川レンジャーによる堤防建設の歴史説明



講師によるセイタカヨシとヨシの違い説明



児童の点野水際観察

3. 子どもが安全に遊び、学べる水辺拠点づくり ・平成24年12月18日(火)

活動名	子どもが安全に遊び、学べる水辺拠点づくり		
活動分野	環境保全		
氏名	上田 豪 (枚方出張所管内河川レンジャー)		
活動日時	平成24年12月18日(火) 13:00~16:10		
実施場所	点野砂州 		
参加人数	参加総数	19名	
	参加者	15名	通訳1名、留学生14名
	スタッフ	3名	立川河川レンジャーアドバイザー、桧垣氏、渡辺君
	河川レンジャー運営事務局	1名	
スケジュール	13:00	点野流域センターにて準備	
	14:25	参加者到着、開始	
	14:25	上田河川レンジャーから活動の注意	
	14:35	外来種の除去作業開始	
	15:20	回収した外来種の子運搬	
	16:05	回収されたゴミ袋の集積	
	16:10	終了	
配付資料	特になし		
関係機関からの支援内容	刈り草処分(出張所)		
河川レンジャーの活動内容	準備	打合せ、資材準備、	
	当日	<ul style="list-style-type: none"> ・作業内容の説明、対象の草の説明、進行管理、 ・種を落とさないようにコセンダングサ、カナムグラの除去指導 ・みんなでヨシに絡まるカナムグラの手除去 ・回収した外来種の子運搬 ・コセンダングサの除去 ・ナガバギシギシのスコップを使って除去 ・後片付け、整理 	
	事後	報告まとめ	
参加者からの意見	寒かったが面白かった		

※平成24年11月14日(水)13:00~16:00にも参加者20名により同活動を実施しています。



種を落とさないようにカナムグラの除去指導



みんなでヨシに絡まるカナムグラを手で除去




カナムグラの除去後の状況



ナガバギシギシをスコップにて除去 回収されたゴミ袋の集積状況

4. 子どもが安全に遊び、学べる水辺拠点づくり

・平成 25 年 1 月 23 日(水)

活動名	子どもが安全に遊び、学べる水辺拠点づくり		
活動分野	河川美化・環境保全・啓発その他・広報・自然観察・水利用等・防災		
氏名	上田 豪 (枚方出張所管内河川レンジャー)		
活動日時	平成 25 年 1 月 23 日(水) 14:20~16:20		
実施場所	点野砂州 		
参加人数	参加総数	14 名	
	参加者	13 名	オール電算組合通訳者 1 名、ベトナム人 9 名、中国人 1 名、水辺クラブ 2 名 (渡邊、檜垣)
	スタッフ	1 名	立川レンジャーアドバイザー、水辺クラブ鬼塚氏、
	寝屋川市職員	1 名	
	河川レンジャー運営事務局	1 名	
スケジュール	14:00	準備体操	
	14:20	開始、レンジャーから外来種の抜根除去について指導	
	14:20	外来種除去作業の開始	
	15:20	散在小枝の収集、結束と袋詰め運搬集積	
	15:50	回収物の袋詰め作業と運搬集積	
	16:00	参加者解散、終了	
配付資料	特になし		
関係機関からの支援内容	抜根外来種 (ナガバギシギシ)、収集穂放置小枝等の処分		
河川レンジャーの活動内容	準備	スコップ (自前・借用)、ごみ袋、上がり下り用ロープ、運搬車輛等の資材準備、参加企業との打合せ、	
	当日	作業説明、進行管理	
	事後	後片付け	
参加者からの意見			



レンジャーによるナガバギシギシの抜根除去の指導



参加者による外来種除去作業




河道内樹木伐採に関わる放置散在小枝の収集



回収物の袋詰め作業と子運搬

5. 淀川の冬鳥観察会

・平成25年2月3日(日)

活動名	淀川の冬鳥観察会		
活動分野	河川美化・環境保全・啓発その他・広報・自然観察・水利用等・防災		
氏名	上田 豪 (枚方出張所管内河川レンジャー)		
活動日時	平成25年2月3日(日) 10:10~12:00		
実施場所	淀川左岸河川敷および河岸 (淀川河川公園 太間地区~点野ワンド) 		
参加人数	参加総数	17名	
	参加者	13名	
	講師	1名	矢吹精氏 (ねやがわ水辺クラブ・寝屋川市自然を学ぶ会)
	スタッフ	2名	立川レンジャーアドバイザー、ねや川水辺クラブ
	河川レンジャー運営事務局	1名	
スケジュール	10:10	開始 (活動主旨説明、講師挨拶と観察の留意点説明)	
	10:15	冬鳥の観察 ・移動しながら双眼鏡・フィールドスコープで観察 ・観察種について、講師によりその生態を解説	
	11:50	観察終了 ・観察のまとめ ・環境改善・保全の市民参画の大切さと今後のレンジャー活動参加呼び掛け	
	12:00	終了	
配付資料	「水辺の野鳥たち」プリント		
関係機関からの支援内容	レンジャー事務局 フィールドスコープ貸与		
河川レンジャーの活動内容	準備	ポスター作成、印刷、掲示。講師打合せ、下見、スコープ3、双眼鏡3準備	
	当日	司会、進行管理、まとめと活動への呼びかけ	
	事後	レンジャー様にてご記入願います	
参加者からの意見	もぐる鳥、浅瀬の鳥の違いなどよく分かった。生き物の行動が生きていることと関連しているのは分かっていたが、一つ一つの行動がそれと結びついているのが良く分かった。		



移動しながら冬の野鳥観察
(淀川河川公園 太間地区)



移動しながら冬の野鳥観察
(点野ワンド付近)




講師による解説
観察種ごとの生態を含めた解説を聞くことにより、野鳥から見えてくる淀川の環境を知る。



観察のまとめ

6. 子どもが安全に遊び、学べる水辺拠点づくり ・平成 25 年 2 月 20 日(水)

活動名	子どもが遊び、学べる水辺づくり		
活動分野	環境保全		
氏名	上田 豪 (枚方出張所管内河川レンジャー)		
活動日時	平成 25 年 2 月 20 日(水) 13:55～:00		
実施場所	点野流域センター、点野砂州		
			
参加人数	参加総数	21 名	
	参加者	18 名	摂南大学エコシビル部他、18 名
	スタッフ	2 名	鬼塚氏、渡辺氏(ねやがわ水辺クラブ)
	河川レンジャー運営事務局	1 名	
スケジュール	13:55	堤防護岸のロープによる降下	
	13:55	開始、レンジャーから作業開始にあたって注意点など	
	14:03	散在ゴミの回収	
	14:10	外来植物ネズミホソムギの除去法の指導、除去作業開始	
	14:25	ナガエツルノゲイトウの越冬群落の探索作業	
	14:35	遮光シート展貼による群落除去実験	
	14:50	樹木の生長断面の説明	
	15:10	冬眠トカゲの確認、除去した株から土を落とし袋詰めし河川外搬出処分(数袋)、ごみは高水敷に集積(約 10 袋)	
15:45	茨田樋付近の堤防に発見されたヌートリアと思われる動物の穴を調査記録		
16:10	閉会ミーティング、終了		
配付資料	特になし		
関係機関からの支援内容	ごみ袋の貸与、除去植物・ごみの処分		
河川レンジャーの活動内容	準備	砂州・堤防下見、遮光シート、長靴等必要備品の調達、学生への参加要請	
	当日	作業の進行管理、点野砂州での水辺拠点づくりの説明、堤防の穴の記録	
	事後	動物穴の記録を出張所に提出	
参加者からの意見			



レンジャーから作業開始にあたって注意
点など



漂着ごみの回収



ナガエツルノゲイトウ群落駆逐のための
遮光シート展貼



外来植物種ネズミホソムギ株の除去作業

○瀬野河川レンジャー活動報告（下半期）

7. 平成 24 年度 活動のテーマと目的

○23 年度 10 月～24 年 3 月の活動

- 10 月 12 日の運営会議以降の活動は無し。
- 10 月 18 日、11 月 7 日背割り堤見学会の支援(資料作成、日程調整)を行った。
- 10 月 19 日枚方地区公園地区会議に参加した。
- 11 月 10 日伏見港～枚方港舟運研修会に参加した。
- 11 月 12 日河川レンジャー活動検討会議に参加した。
- 12 月 17 日河川レンジャー会議に参加した。

7.1 活動テーマと活動分野

枚方出張所管内を活動エリアとする瀬野河川レンジャーは以下の活動テーマのもと次の活動を計画しました。

活動テーマ

1. 枚方地区の淀川の見学（活動地域への啓発活動）

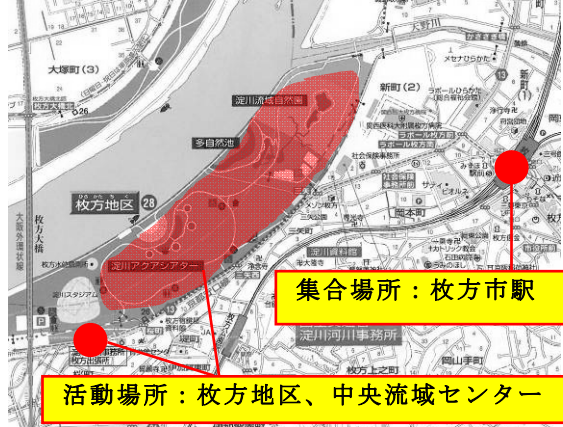
平成 23 年度計画した淀川ウォーキング(淀川について昨年度までに活動した河川の文化、治水、浄水、排水設備、利用、自然等についての内容と枚方地区の淀川の特徴を認識して市民が淀川に親しみ利用が出来るような淀川ウォーキングを実施して淀川の啓発活動を行う。)は調整段階までで、実施にまで至らなかったため、継続活動として平成 24 年度に実施します。

平成 24 年度 活動分野と活動名

活動分野	活動名
淀川の見学 活動地域への啓発活動	淀川ウォーキング [枚方資料館～牧野ワンド]

8. 枚方淀川河川敷自然観察会

・平成24年11月5日(月)

活動名	枚方淀川河川敷自然観察会		
活動分野	自然観察		
氏名	瀬野卓男 (枚方出張所管内河川レンジャー)		
活動日時	平成24年11月5日(月) 10:00~15:20		
実施場所			
参加人数	参加総数	43名	
	参加者	39名	
	講師	1名	本多 政雄氏 (寝屋川自然クラブ顧問)
	スタッフ	1名	仁枝河川レンジャーアドバイザー
	淀川河川事務所	1名	
	河川レンジャー運営事務局	1名	
スケジュール	10:00	枚方市駅集合、開始、淀川河川敷へ移動	
	10:10	河川敷 (天野川) へ到着、観察ポイントへ移動	
	12:00	中央流域センターへ到着 (昼食)	
	12:30	河川レンジャーの話ほか	
	13:45	講師による観察会のおさらい	
	15:20	閉会、終了	
配付資料	・淀川枚方地区自然ルートマップ 特徴のある植物の解説・淀川を楽しむために淀川の野鳥・枚方地区淀川の恵みと自然を知ろう・本多講師より手作りしおり		
関係機関からの支援内容	講師と下見、植物、野鳥の観察の手引き資料作成、淀川自然クラブの参加協力		
河川レンジャーの活動内容	準備	<ul style="list-style-type: none"> ・観察会下見、植物、野鳥の観察の手引き資料作成依頼、淀川の恵みのマップ作成 ・参加者募集、講演会会場準備 	
	当日	<ul style="list-style-type: none"> ・参加者誘導、観察会説明、講師紹介、講座司会進行、参加者感想依頼、会場片付け ・河川敷 (天野川) へ到着後、河川レンジャーから活動趣旨を説明 (スーパー堤防・地形について・淀川とは) ・観察ポイントへ移動 (本多講師による枚方地区の植物、生物を観察、説明する) ・河川レンジャーの話 (淀川のなりたち) 参加者今堀氏のお話 (淀川とカヌー) ・本多講師による観察会のおさらいと普段の淀川について (スライドにて野草、野鳥について説明) 	
	事後	<ul style="list-style-type: none"> ・活動報告作成 (感想まとめ) 	
参加者からの意見	<ul style="list-style-type: none"> ・淀川の野草、野鳥の観察会ならびに観察の手引きは具体的で分かりやすい。 ・淀川については新しいことを理解できた。 ・再度このような企画は実施して欲しい。 		



瀬野河川レンジャーから活動趣旨説明と講師紹介



本多講師による淀川の植生や野鳥の観察（植物：メリケントキンソウ）



瀬野河川レンジャーか淀川のなりたちや施設等について説明（室内）



本多講師によるスライドによる植物、野鳥のお話

○山口河川レンジャー活動報告（下半期）

9. 平成 24 年度 活動のテーマと目的

9.1 活動テーマと活動分野

枚方出張所管内を活動エリアとする山口河川レンジャーは以下の活動テーマのもと、3つの活動を計画しました。

活動テーマ


琵琶湖・淀川流域での環境保全活動とネットワークづくり

平成 24 年度 活動分野と活動名

活動分野	活動名	活動目的
河川の環境保全を図る活動	庭窪ワンド自然観察会（野鳥、植物観察など）又は勉強会（浄水場の見学など）	私達の命の源である「水」、1400万人の水供給をしている「琵琶湖・淀川水系」での「水環境」を地域の人達と一緒に考えて行きたい。 そのために、 ①淀川の水環境を知っていただく「気づき」の場を提供 ②具体的な「行動（アクション）」の場を提供 ③活動内容を「つなぐ（ネットワーク）」活動を行います。
	庭窪ワンド付近清掃活動（外来種植物除去含む）	水環境の実態を知ることにより、生活排水を注意したり、使用量を抑えようとか、ライフスタイルの見直しなどの行動につながると考えます。
河川レンジャー活動に関するニュース等の情報発信（ネットワークづくり）	琵琶湖・淀川流域各地の活動内容等の情報共有を行うべく、市民・企業・NPO・行政との協働ネットワークづくり （メーリングリスト、ホームページ作成等）	そしてそれぞれの行動をネットワークすることにより、自然との調和ある社会が実現されるものと信じています。

10. 庭窪ワンド外来魚&植物駆除・清掃活動

・平成24年11月25日(日)

活動名	庭窪ワンド外来魚&植物駆除・清掃活動		
活動分野	環境保全		
氏名	山口 進 (枚方出張所管内河川レンジャー)		
活動日時	平成24年11月25日(日) 9:30~12:15		
実施場所	庭窪ワンド、淀川河川公園 庭窪レストセンター 		
参加人数	参加総数	25名	
	参加者	22名	
	大阪府職員	2名	大阪府環境農林水産総合研究所 水生生物センター
	河川レンジャー運営事務局	1名	
スケジュール	9:30	開始 (活動趣旨・行程説明、大阪府紹介と挨拶)	
	9:45	庭窪ワンドへ移動	
	9:55	駆除作業開始	
	12:00	駆除作業終了、庭窪レストセンターに移動	
	12:15	終了	
配付資料	なし		
関係機関からの支援内容	<ul style="list-style-type: none"> ・淀川河川事務所 (河川レンジャー旗、胴長、ゴミ袋、塵芥処分 他) ・水生生物センター (パネル、他) 		
河川レンジャーの活動内容	準備	<ul style="list-style-type: none"> ○実施計画の立案 実施日、実施内容の検討 現地見 ○参加の案内 参加案内の作成 配布活動 (配布先…門真エコネットワーク連絡会、HP記載など) ○必要物品の準備 各関係機関への貸与依頼、調整 ○関係機関との調整 事前打合せ スタッフへの協力依頼 	
	当日	<ul style="list-style-type: none"> ○活動の実施 開会、閉会の挨拶 司会進行 参加者との交流 ○駆除作業 ・水中・ボートを使って外来種ナガエツルノゲイトウやゴミを岸際へ引き寄せる ・陸上・引き寄せた一式を陸上へ引き上げる ・分別・引き寄せた一式を外来種・ゴミ・大型ゴミに分別 	
	事後	<ul style="list-style-type: none"> ○アンケートの集計 ○活動報告書作成～提出 	
参加者からの意見	<ul style="list-style-type: none"> ・ 継続した駆除が必要 ・ 繁殖力にびっくり ・ 短時間で成果も明確になるので達成感がありよかった。 		



山口河川レンジャーによる活動趣旨と行程説明



作業状況
水中から引き寄せたナガエツルノゲイトウほか一式を陸上に引き上げ、分別する。




作業前（一部）ナガエツルノゲイトウ



作業後（一部）一掃された

11. 庭窪ワンド外来魚&植物駆除・清掃活動

・平成 25 年 2 月 2 日(土)

活動名	庭窪ワンド外来植物駆除及び清掃活動		
活動分野	河川美化（環境保全）		
氏名	山口 進（枚方管内河川レンジャー）		
活動日時	平成 25 年 2 月 2 日(土)8：40～12：00		
実施場所	（場所）淀川左岸庭窪ワンド 		
参加人数	参加総数	16 名	
	参加者	3 名	大人 3 名、子ども 0 名 ※地元漁師 1 名含む
	講師	名	
	スタッフ	名	
	連携団体関係者	12 名	大阪産業大学学生（5 名）・大阪商業大学学生（6 名） 大阪商業大学 原田准教授
	府県・市職員	名	
	淀川河川事務所	名	
	河川レンジャー運営事務局	1 名	
スケジュール	8:40	開始（道具準備・現地視察）	
	9:00	受付開始	
	9:30	山口レンジャーによる挨拶及び注意事項説明	
	9:40	庭窪ワンド到着・山口レンジャーによる作業内容の説明	
	9:45	外来植物駆除及び清掃活動開始	
	11:30	活動終了	
	11:35	後片付け・ゴミ袋収集	
	11:45	庭窪レストセンターに到着・後片付け	
12:00	終了		
配付資料	・ 2013 年度活動スケジュール（参加団体代表者のみに配布）		
関係機関からの支援内容	・ 淀川河川事務所（河川レンジャー旗、金バサミ、ゴミ袋、塵芥処分 他）		

河川レンジャーの活動内容	準備	<ul style="list-style-type: none"> ○実施計画の立案 実施日、実施内容の検討 現地下見 ○参加の案内 参加案内の作成 配布活動（配布先…門真エコネットワーク連絡会、HP記載など） ○必要物品の準備 各関係機関への貸与依頼、調整 ○関係機関との調整 事前打合せ スタッフへの協力依頼
	当日	<ul style="list-style-type: none"> ○活動の実施 開会、閉会の挨拶 司会進行 参加者との交流
	事後	<ul style="list-style-type: none"> ○アンケートの集計 ○活動報告書作成～提出
参加者からの意見		<ul style="list-style-type: none"> ・ 重機の力はすごい。 ・ 胴長を着けてワンドに入り駆除がしたかった。 ・ ナガエツルノゲイトウの繁殖力はすごい。 ・ 重機で岸辺のところまで除去して欲しい。



庭窪ワンドでの作業内容の説明



力を込めて根っこから！頑張る学生たち



ワンド先端での外来植物の駆除風景



ゴミ及び外来植物の収集袋

○後藤河川レンジャー活動報告（下半期）

12. 平成 24 年度 活動テーマと目的

12.1 活動テーマと活動分野

枚方出張所管内を活動エリアとする後藤河川レンジャーは以下の活動テーマのもと、次の活動を計画しました。

活動テーマ

淀川の歴史（過去・現在）を学び、淀川の未来を考える。

平成 24 年度 活動分野と活動名

活動分野	活動名
活動地域・関連団体等への啓発活動（講習会）	「知ろう、考えよう『淀川の過去、現在、そして未来』」
先輩等河川レンジャー活動の補助・協力参加	「先輩等河川レンジャー活動から学ぶ」

13. 淀川講座

・平成 25 年 3 月 3 日(日)

活動名	「ざっくり!びっくり!淀川!」講座		
活動分野	河川美化・環境保全 啓発その他 ・広報・自然観察・水利用等・防災		
氏名	後藤圭一郎 (枚方出張所管内河川レンジャー)		
活動日時	平成 25 年 3 月 3 日(日) 13:15~17:30		
実施場所	枚方市駅~京街道~淀川資料館~京街道~鍵屋資料館~京街道~中央流域センター		
参加人数	参加総数	9名	
	参加者	6名	大人6名
	講師	2名	小関博子(近畿建設協会)、鍵屋資料館案内役
	河川レンジャー運営事務局	1名	
スケジュール	13:00	京阪枚方駅での集合	
	13:15	FM ひらかたへ告知メッセージアピール、開始	
	13:25	レンジャーから東海道 56 次枚方宿の説明	
	13:30	安居川「枚方橋」跡、「宗左の辻」旧東海道分岐点道標(文政 9 年:1826 年)、京街道ルートマップの説明	
	13:45	枚方宿の水源「下井戸」の遺構確認、枚方宿「高札場」跡、枚方宿「本陣」跡看板	
	14:15	講師による資料館講座	
	14:55	榊形道、浄念寺・台鏡寺、順興寺等旧寺内町、枚方浜(問屋浜)の説明、	
	15:05	鍵屋資料館見学(資料館案内役による説明)	
	16:10	郵便屋の渡し跡石碑、明治 18 年洪水記念碑	
	16:25	レンジャーから流域センターにて PPT で講義、意見交換	
	17:30	終了	
配付資料	「ざっくり!びっくり!淀川!」講座(レンジャー作成説明資料)、京街道・枚方宿散策資料、ひらかたくらわんこ新聞、淀川のシンボルフィッシュイタセンパラ、簡易アンケート用紙		
関係機関からの支援内容	<ul style="list-style-type: none"> ・淀川資料館による講座 ・市立鍵屋資料館による館内案内・解説 ・枚方文化観光協会におけるチラシ設置 ・河川レンジャー事務局による講座用各種機器備品貸与設置ほか全般 		
河川レンジャーの活動内容	準備	<ul style="list-style-type: none"> ・講座資料(パワーポイント)・チラシ制作 ・淀川資料館・市立鍵屋資料館への支援要請 ・京街道枚方宿散策下見 ・枚方文化観光協会へのチラシ設置要請 	
	当日	<ul style="list-style-type: none"> ・講座会場設営 ・京街道・枚方宿散策案内・解説 ・「ざっくり!びっくり!淀川!」講座講師 ・意見交換 	
	事後	<ul style="list-style-type: none"> ・講座会場後片付け ・評価反省意見交換 	
参加者からの意見	<ul style="list-style-type: none"> ・締めめの講座では、野外見学で見てきたことと関連づけた話にしてはどうかと思った。 ・イタセンパラが淀川のシンボルフィッシュになったのは、市民が関わって保護を行ってきたことにある。他の保護種にはない特徴である。イタセンパラの保護種としての付加価値は市民との関わりにある。 ・川づくりに、市民レベルから関心をもって動かそうという市民力を加えてはどうか。 ・二枚貝の減少など、明らかに環境の悪化が見られる。ワンドの減少、ゴミの増加などは人が変えてきた結果である。しかしこの 40~50 年の間にそのことに気づき始めてきた。 ・外来種の増加などは、人為的に川の環境をかく乱した結果、じっくり育った在来種がいなくなったことによる。新淀川の改修、生産力の増強など、社会的な背景が明治以降の要望のベースとなった。人口の増加、高度成長、水需要の増大などが先行し、住民の声を聞かない時期があった。 ・種の多様性に人がどこまで手をかけられるか、いつかはだめになる時期が来る。 		

文明の崩壊に川が関わった歴史が証明している。

- ・河川整備計画は理解し、腹におとす必要がある。
- ・屋外での行動を考えると同行する人数を制限したほうがよい。10人弱くらい。



かつて枚方宿として栄えた街と淀川の歴史を各ポイントを巡りながら解説



淀川資料館で淀川の成り立ちについて学ぶ



鍵屋資料館にてかつて栄えた舟運の歴史（街と人の暮らし）を学ぶ



河川法制定後の近代～現在までの淀川の変遷、これからの淀川について講義

○玉井河川レンジャー活動報告（下半期）

14.平成 24 年度 活動のテーマと目的

14.1 活動テーマと活動分野

枚方出張所管内を活動エリアとする玉井河川レンジャーは以下の活動テーマのもと、4つの活動を計画しました。

活動テーマ

1. 淀川の自然、文化、防災に関する啓発普及と次世代への継承
2. 淀川の自然再生のための協働による川づくり、点野ワンド周辺における「みんなの水辺」創出へむけて

平成 24 年度 活動分野と活動名

活動分野	活動名	活動目的
河川環境保全・再生の普及・啓発・学習	淀川の生物多様性を考える座学、施設見学	淀川が育んだ生物多様性の価値を再認識するとともに、COP10 名古屋において、我が国から世界に向けて発信した SATOYAMA イニシアティブの理念を学び、これからの川づくりの取り組みに活かしたい。
防災・救援・救難の推進を図る活動	水防を考える展示と集い パネル・資料展示、座学と意見・情報交換会	川は多くの恵みをもたらすと同時に、時として災禍をもたらす。洪水と治水の歴史を振り返り、淀川左岸地域の地形的特性を理解するとともに、個々の生活事情に鑑みながら、身近な問題として水防を考える機会とする。
河川の適正な利用の推進を図る活動	淀川丸ごと体験会	川と身近に接する機会のない子どもたちに、川の楽しさを体験しながら、淀川の自然、歴史、川と人とのかかわりを学び、河川愛護のこころ、川で安全に遊ぶ心得を身につけ、将来、子どもに正しい川遊びを体験させられるパパとママに育ててもらう。
河川に関わる歴史・文化の普及・啓発活動 河川行政と地域・住民・住民団体とのコーディネートを図る活動 川づくり、まちづくりへの参画・支援活動	茨田樋イチョウまつり、淀川体感スタンプラリー他	当該地における協働のシンボルともいえる茨田樋遺跡水辺公園をメイン会場としておこなわれる、淀川と地域・人とのつながりを広く市民に伝え、地域住民、団体、こども達の交流の場となる「茨田樋イチョウまつり」の一環として、会場周辺に点在する、文化素材、自然素材を紹介し、淀川の豊かな自然、あるいは直面する課題、人とのつながりを認識する機会とする。

活動分野	活動名	活動目的
河川生態環境保全を図る活動	<p>点野ワンド周辺の植生調査と外来植物駆除 座学と実習、植生調査、外来植物駆除、観察会など</p>	<p>淀川は、身近な自然環境としての認知度も高いにもかかわらず、川そのものと身近にふれあうことは難しく、関心も薄い。誰もが安全に利用できる川、水辺づくりに協働で取り組むための、基盤づくりと位置づけ、さらに当該地区を含む区域が「淀川河川公園基本計画」のモデル地区に選定されたことをうけ、護岸の切り下げも視野に入れた河川整備を提案できる、地域に根差した活動主体へと発展できる川の担い手を育成する場とする。</p> <p>淀川が育んだ生物多様性の価値を再認識するとともに、その維持を脅かす侵略的外来生物侵入の現状を知り、防除に取り組む。</p> <p>また、日本が世界に発信した SATOYAMA イニシアティブの理念に鑑み、日常的に川と関わりながら、河川環境・生態系を再生・保全し、利用し続ける方法を模索する。</p>

○枚方管内河川レンジャーおよびアドバイザー連携活動報告

15. 寝屋川エコ・フェスタ

・平成24年11月18日(日)

活動名	寝屋川エコ・フェスタ		
活動分野	啓発その他		
氏名	上田 豪 (枚方出張所管内河川レンジャー) 立川河川レンジャーアドバイザー		
活動日時	平成24年11月18日(月) 10:00~15:00		
実施場所	打上川治水緑地 河川レンジャーブース 寝屋川市太秦桜が丘25		
参加人数	参加総数	110名	
	参加者	100名	
	スタッフ	6名	中川ゆり子河川レンジャー・玉井河川レンジャー・後藤河川レンジャー ねや川水辺クラブ3名
	淀川河川事務所	2名	
	河川レンジャー運営事務局	2名	
スケジュール	10:00	・展示 (枚方管内河川レンジャー活動紹介・淀川今昔地図・平成24年宇治市木幡地区水害状況・寝屋川市防災マップ・河川レンジャーと環境を守る取り組み) ・ヨシ工作体験	
	15:00	終了	
配付資料	・河川レンジャーNews ・桂川クリーン大作戦案内チラシ		
関係機関からの支援内容	パネル作成、ラミネート資材提供、写真印刷、		
河川レンジャーの活動内容	準備	市当局との打合せ、スタッフ打合せ、河川レンジャー打合せ、展示パネル作成、作業テーブル等の準備、作業機材の準備	
	当日	展示パネル・作業テーブル・作業機材等の運搬、展示、展示パネルの説明、アシ笛作りの管理、後片付け	
	事後	借用資機材の返却、報告のまとめ	
参加者からの意見	アシで笛が作れるのに驚いた 土囊づくり・簡易水防オフの啓発が中止になった経緯が分からない (スタッフ)		




河川レンジャーブース全体



展示スペース



16. 茨田樋遺跡水辺公園 茨田イチョウまつり ・平成24年11月23日(金)

活動名	茨田樋遺跡水辺公園 茨田イチョウまつり		
活動分野	啓発その他		
氏名	上田 豪・後藤 圭一郎・玉井 理恵（枚方出張所管内河川レンジャー） 立川亨一（河川レンジャーアドバイザー）		
活動日時	平成24年11月18日(月) 8:30~15:30		
実施場所	 <p>活動場所：茨田樋遺跡水辺公園 淀川左岸幹線水路（Eボート）</p>		
参加人数	参加総数	147名	
	参加者	121名	
	スタッフ	25名	ねや川水辺クラブ・点野自治会・摂南大学（澤井・石田研究室・エコビル部、大阪府枚方土木事務所、寝屋川水系改修工営所
	河川レンジャー運営事務局	1名	
スケジュール	8:30	スタッフ集合（設営準備）	
	10:00	開始、Eボート乗船体験会（淀川左岸幹線水路）ヨシ笛工作体験、	
	12:30	イチョウ祭りセレモニー、河川レンジャーによる活動趣旨説明	
	13:00	各団体の活動紹介	
	15:00	会場締め、終了	
	15:30	片付け・解散	
配付資料	特になし		
関係機関からの支援内容	<ul style="list-style-type: none"> 刈り草等の処分（市）、展示用柵材料の角材の提供（出張所）、タープテント・マイクスピーカーの貸与（以上レンジャー事務局）、パネル材料・秋の実り関連資機材の提供（枚方土木他）、（以上上田R記入） 自治会よりギンナン・イモなどの提供、淀川河川事務所より資機材借用、大阪府より非常食提供、寝屋川市よりボランティア車借用、ねや川水辺クラブより資機材借用（以上立川RA記入） 寝屋川市よりゴミ（刈り草含む）の処分（以上玉井R記入） 広報、会場設営・撤去ほか（以上後藤R記入） 		
河川レンジャーの活動内容	準備	<ul style="list-style-type: none"> スタッフ会議2回、地元との打合せ2回、ポスター掲示、地元回覧板の回覧、ギンナンの採取・皮むき・乾燥、学校回り（イモ調達とポスター・チラシ配布要請）、団体回り（ポスター・チラシ配布と参加要請）、会場の草刈、柳剪定、水路管理、展示パネル作成、白テントの設営、必要資機材点検準備、 実行委員会立ち上げ、内容企画、関係各方面への広報活動 実行委員会への出席 クイズラリー担当者との打ち合わせ 物品準備 	

	<p>当日</p>	<p>(当日の概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ E ボート乗船体験会 (淀川左岸幹線水路) ・ 展示コーナー、タープテントの設営、展示 (河川レンジャー活動紹介) ・ 淀川の変遷・茨田樋遺跡水辺公園の紹介 ・ 各協力団体の展示、機材、会場準備、下ごしらえ、 ・ ヨシ笛工作体験、 ・ 秋の実りを食べる会 (協力団体等の参加) ・ イチョウ保全セレモニー、河川レンジャーによる活動趣旨と自己紹介 各団体の活動紹介・イチョウの木保全セレモニー・遺跡公園水路に植物を植える (草) <p>(各河川レンジャーの活動)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 準備資材の運搬、机・椅子など会場設営、展示用柵の設営等会場管理、司会、全体の進行管理、後片付け、 ・ 各種資機材の設営、設置 ・ パネル展示コーナー設営、参加団体のパネル展示サポート ・ 植栽活動参加者のサポート ・ 撤収作業 ・ 参加者誘導 ・ スタッフ指示 ・ 参加関係団体との意見交換及び交流 ・ 河川レンジャー広報、啓発
	<p>事後</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ テント・タープテントの撤収・資機材の整理、後片付け ・ 現地での後片づけ、点野流域センターでの後片づけ ・ 借用物品の返却 ・ パネル展示参加団体へのお礼と報告 (ふれあいプラザ香里、水辺に親しむ会)
<p>感想</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 雨が降るなど天候が悪かったが上手く実施できた。 ・ 大変楽しい行事であった ・ 雨がなければもっとよかった ・ 少し寒かった ・ どこで誰がしゃべっているのかわかりやすかった。(イチョウの木の周りが整備され、ステージのようになったためと思われる) ・ 途中で MC が交代し、メリハリがついた。 ・ クイズの問題がどこにあるのかわかりにくかった。 ・ 「毎年、家族で楽しんでいます。」(参加者) ・ 「良い活動報告、啓発の機会となっています。」(協力団体スタッフ) 	



イチョウ祭り会場全体



幹線水路にてEボート体験会



河川レンジャーによる活動趣旨説明



公園内にて植物を植える（ショウブやセリなど）